

英国最大規模のJカルチャーイベント 「HYPER JAPAN 2012 Christmas」が開催！

J-Music・アニメ・ファッション・テクノロジーから日本食・日本酒・伝統文化まで
日本の“今”をまるごと紹介！英国でも大反響！！



「HYPER JAPAN 2012 Christmas」は、在英国日本国大使館、日本貿易振興機構、国際交流基金、日本政府観光局、財団法人自治体国際化協会ロンドン事務所、一般社団法人日本動画協会、NPO法人映像産業振興機構、財団法人音楽産業・文化振興財団の後援のもと、11月23日（金）～25日（日）の3日間にわたり、ロンドンのアールズコート（ブロンプトンホール）にて開催されました。

幅広い日本文化を紹介する「HYPER JAPAN」では、漫画、アニメ、J-POPなどのポップカルチャーに加え、映画『キル・ビルVol.1』の殺陣指導で名高い「かむみ」によるステージとワークショップ。日本を代表するギタリストの布袋寅泰氏のゲスト出演による「かむみ」とのパフォーマンスのコラボレーション。アニメ界に大きな影響を与え続けているプロダクション・アイジーの石川光久氏、日本のKAWAIIを集めたファッションカルチャーショー「MARBLE Collection」の総合クリエイティブディレクターを務める山田淳也氏、J-Musicを代表して「THE MICRO HEAD 4N'S」、「NINJAMAN JAPAN」、「友香」といった今後海外での活躍が期待される有望なバンドが登場するなど、今回は日本から過去最多の20名を超えるゲストを迎え、大きな盛り上がりを見せました。

また、「Eat-Japanイベント」では、日本酒を体験できる「SAKE EXPERIENCE 2012」をはじめ、寿司ワークショップや日本食、和風カクテルの各種デモンストレーションも行われました。さらに、今回はベスト・ブリティッシュ・ショコラティエに4回も選ばれた経歴を持つウィリアム・カーリー氏が、日本食材を使用した新しいチョコレートを披露し、大きな注目を集めました。

土曜日1日中雨という天候の悪さにも関わらず、来場者数は開催3日間で約4万6000人を記録し、来場者層は95%が英国人や欧州人で、現地の若者を中心としたJポップカルチャーファンやファッションなどの流行に敏感な層、日本酒や日本の現代文化から伝統文化までに興味のある社会人、そして日本食を楽しむ家族連れなど、幅広い層に拡大してきました。2010年にスタートし、4回目となる本イベントは、初開催から2年で急成長を遂げ、現地でも大きな注目を集めています。英国メディアでの反響も大きく、取材に訪れたプレスは日、英、欧、合わせて350を超え、Jカルチャーが英国の幅広い層に訴えかける結果となりました。



更に、会期前後を通じてフェイスブック、ブログ、SNSサイト等でJカルチャーファンのネットワークに広く伝播されています。

【HYPER JAPAN 2012 Christmas概要】

会場： アールズコート（ブロンプトンホール）（英国ロンドン） <http://www.eco.co.uk>

開催期間： 2012年11月23日（金）～11月25日（日）の3日間

開催時間： 23日（金） 14時00分～20時00分

24日（土） 09時30分～20時00分

25日（日） 09時30分～17時00分

主催： クロスメディア社（英国ロンドン）

代表： 丸茂和博

後援： 在英国日本国大使館、日本貿易振興機構、国際交流基金、日本政府観光局、財団法人自治体国際化協会ロンドン事務所、一般社団法人日本動画協会、NPO法人映像産業振興機構、財団法人音楽産業・文化振興財団

協賛： 9企業



バンダイナムコパートナーズ、ブリティッシュ・エアウェイズ、ジェムグループ、ジェイピー・ブックス、コナミ、NHKワールド、任天堂、OCS、スクウェア・エニックス プロダクツ

出展者数： 116

展示内容： アニメ、マンガ、キャラクターグッズ、ゲーム、音楽、アート、映画、テクノロジー、玩具、ファッション、武道、着物、アクセサリー、美容、観光、日本食、日本酒、日本食材、寿司レッスン、和菓子、スナック菓子、ビール、日本茶

ステージ： かむみ、J-Music、メディア芸術祭、MARBLE Collection、世界コスプレサミット英国代表選考会、ライブパフォーマンス、ファッションショー、セミナー、巨大マグロ解体ショーなど。

入場料： 当日券£15.00、前売り券£12.00

入場者数： 約4万6000人（来場者の95%が英国人、欧州人）

公式サイト： <http://www.hyperjapan.co.uk>（英語のみ）

ー主催のクロスメディア社代表 丸茂和博：イベントの意義と展望を語るー

「HYPER JAPANは、英国最大規模となる総合Jカルチャーイベントで、世界中で数多く行われている同様のイベントの中でも、数少ない日本人が主催しているイベント。現代のポップカルチャーから伝統文化まで、さらに食や最新テクノロジーまでジャンルを問わず日本の“今”を伝えることを目的としている。日本のカルチャーやコンテンツを世界に発信するには、ヨーロッパやインド、中東など多くの国に影響力を持つ英語圏の本案英国からの発信であることが必須となる。現在、日本のビジネスは、アジアを中心にシフトしているが、知的財産権やルールが確立し、政治的にも安定している英国からスタートすることが重要。日本の会社には、世界に向けて発信する際の基盤としてHYPER JAPANを利用して欲しい」とコメント。

■サプライズゲスト布袋寅泰氏と「かむみ」コラボ実現で、『キル・ビル』の世界を再現！

殺陣パフォーマンスグループ「かむみ」は、剣にこだわり続け、その高度な技術と既成の枠にとらわれない表現方法で、芝居、形式美、武術を融合した独自の立ち廻りパフォーマンスを確立。リーダーの島口哲朗は、クエンティン・タランティーノ監督にも絶賛され、2003年に公開された映画『キル・ビルVol.1』では、出演・殺陣振付を担当するなど、日本のみならず海外でも幅広く活躍しています。

今回は、日本を代表するギタリストの布袋寅泰氏がパフォーマンス後にサプライズゲストとして登場し、布袋氏による

「BATTLE WITHOUT HONOR OR HUMANITY (新・仁義なき戦いのテーマ)」の演奏と「かむみ」のパフォーマンスとの共演で

『キル・ビル』の世界を再現。その圧倒的なパフォーマンスで観客を大いに沸かせました。

布袋氏は、演奏後「たくさんの方々が日本の文化に興味を持っているし、僕のギターも日本のカルチャーのひとつなので、楽しんでもらえたらと思って参加しました。小さな子供からお年寄りまで楽しんでもらえるギタリストだと自信を持っていますが、演奏前は少しドキドキしました。でも、演奏が終わった時に大きな拍手をもらって、ホッとしたと同時に、『してやったり』という気持ちにもなりましたね」と参加した感想をコメント。12月に行われるライブチケットのプレゼントを手渡すなど、さらに大きな盛り上がりを見せました。



「かむみ」はステージのみならず、ワークショップも連日開催し、計約100人が参加。その充実した内容に参加者は皆満足していました。「HYPER JAPAN」初参加となる「かむみ」も「イギリスの観客たちの真剣な眼差しのおかげで、より熱いパフォーマンスになりました。すごくエキサイティングイベントに参加させてもらえてよかったです。ワークショップでは、本当に色々なキャラクターな方がいましたが、みなさん本当に礼儀正しくてコミュニケーションがとりやすかったです。逆に参加者の方に教えられたこともたくさんありました」とイギリスの観客に対する印象や感想などについてコメント。

■トークに、ライブに、J-Musicファンのみならず会場が大熱狂！

それぞれまったく異なるパフォーマンスを見せるバンド3組によるトークイベントとライブに、多くのJ-Musicファンの方々が集まり、現地の方々が新しいJ-Musicに触れる機会となりました。

・ THE MICEI HEAD 4N'S

欧州で大注目のヴィジュアル系ロックバンド「THE MICRO HEAD 4N'S」は、今回トークショーを開催。ライブとは違う素顔のメンバーたちを見る機会とあって、ファンはその内容に聞き入っていました。「今回はトークだけでしたが、次回は是非ライブで戻ってきたいです」とコメント。



・ NINJAMAN JAPAN

忍者戦隊をテーマにした和テイスト衣装のアクションヴィジュアル系バンド「NINJAMAN JAPAN」は、派手なアクションパフォーマンスとライブで多くの観客を盛り上げ、早速振付を覚えたファンとの交流も楽しんでいました。「最初は不安もありましたが、観客のみなさんが助けて盛り上げてくれたので、一緒に楽しめましたし、すごく温かい方々だと感じました」と参加した感想などをコメント。



・友香

楽器と日本舞踊融合させ、J-POPにしあげた和POPの「友香」は、「日本の伝統文化と自分たちの思いを伝える為に今回この舞台上で演奏させていただきました」と演奏後にコメントしました。新しいジャンルである和POPに、現地の観客は高い興味を持っていました。



■アニメ制作の裏側や本邦初公開の最新映像に英国のアニメファンも大興奮！（文化庁メディア芸術祭）

文化庁メディア芸術祭は、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。今回は、ハリウッド映画にも影響を与えた押井守監督の『GHOST IN THE SHELL/攻殻機動隊』（1995）や『イノセンス』（2004）などの制作で知られるプロダクション・アイジーより石川光久氏をお迎えし、アニメ評論家の氷川竜介氏とともに、スペシャルトークショーを行いました。



多くの英国アニメファンが聞き入る中、「メディア芸術祭は、世界中のどこからでも誰でも参加することが出来るので、前回は世界中から多くの作品が集まりました。才能ある若い人たちが、世界に向けて羽ばたいていくのを助ける役割も果たしていますし、アニメや漫画をプロモーションするのも大きな役目を担っています」と、メディア芸術祭審査員を勤める氷川氏よりメディア芸術祭について解説。アニメ界をけん引し続ける石川氏からは、メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞を授与した『ももへの手紙』の制作秘話をはじめ、自身のアニメ制作についてもお話し頂きました。また「イギリスは保守的なイメージで、自分たちが作っているエッジの効いた作品など受け入れられないかなと思っていましたが、ちゃんといいものを作っていれば国境を超えられるんだなと感じました。すごく日本のカルチャーが受け入れられているので、これからもこういったイベントを続けて欲しいと思います」とイベント参加の感想をコメント。また、世界初公開となる最新CM映像も放映し、多くのアニメファンが喜んでいました。

■日英のKAWAII大集合！現在のKAWAIIファッションについて熱く語る！（MARBLE Collection）

2011年7月月渋谷にて開催された、日本のKawaiiを集めたファッションカルチャーイベント「MARBLE Collection」。今回は演出家としても活躍している山田淳也氏とジェネラルプロデューサーの福山正之氏をお招きした東京ストリートファッショントークショー。



「日本の英国も比べずに、自分のイメージする好きなものを着ればいいと思っています。次回は是非ロンドンでも「MARBLE Collection」を開催したいと思っていますし、世界に憧れを持たれるようなアイドルを生みだしたいと思っています」とその思いを語りました。

■“KAWAII STYLE” ジャパニーズストリートファッションショー、最新ファッションを一目見ようと多くの人が殺到！

ロリータ系やフェアリー系などをはじめとし、着物アレンジも加わった日本のストリートファッションを紹介するファッションショー。現地のKAWAIIモデルたちがそれぞれ人気ブランドのファッションに身を包み、英国でも高い関心と注目を集めている日本の最新ファッションを紹介致しました。KAWAII STYLEを盛り上げるウィッグ、ファッション小物、着物など出展ブースも人気を博していました。



■英国人が親しめる新しい、おいしい、楽しい日本飲食が勢揃い！「Eat-Japanイベント」 (協賛：キッコーマン、エスビー食品)

・欧州最大規模の一般向け試飲会イベント

「Eat-Japan SAKE EXPERIENCE 2012」は、Try (試飲)、Learn (学習)、Vote (投票)、Buy (購入) と4つのエクスペリエンスを通じ、日本酒を楽しく体験できるイベント。10歳元による20種以上の日本酒が、オンザロック、冷酒、熱燗など、様々なスタイルで一度に味わえるバラエティのある大試飲会となりました。3日間の延べ参加者は650人以上、参加者の行列は一時も途切れることなく、英国における日本酒の人気の高さが伺えました。試飲後の人気投票では、総合人気部門に旭酒造(山口県)の純米大吟醸酒『獺祭磨き二割三部』、ギフトに最適な日本酒部門には林本店(岐阜県)の古酒『黄金琥珀』、英国料理と合わせて楽しみたい日本酒部門には宝酒造(京都府)の純米酒『松竹梅白壁蔵生もと純米』がそれぞれ一位を獲得しました。旭酒造の飯田薫氏は「お客さんの質が高いですね。既にお酒を飲んだ事のある方、好奇心の強い方など日本酒に一步踏み込んだ方が多かったです。飲食に関して先入観がなく、意識が高いことに感心しました」、林本店の林理栄子氏は「思った以上に日本酒が知られていますね。勉強熱心で、言葉で表現しようとするそのボキャブラリーの豊富さは素晴らしい。ワイン文化で鍛えられているのですね」。宝酒造の伊東浩之氏は、「伝統



の国なので保守的ではありますが、一旦好きになったらずっと飲んでいただける、こだわりのある方が多いですね」と欧州最大の日本酒マーケットである英国の反応についてそれぞれコメントしました。また、自宅での熱燗のつけ方など日本酒の楽しみ方を学べる、日本酒ソムリエによるミニセミナーや、気に入った日本酒を購入できるショップも併設、クリスマス商戦時期とも重なり、一味違うクリスマスプレゼントに喜ばれました。

・パーティメニューに寿司を！本格寿司シェフが、英国人にぎり寿司を伝授。

「Eat-Japan Sushi Workshop」では、来年スタート予定のSozai Cooking'scool (ソザイクッキングスクール) がHYPER JAPANにて寿司体験クラスを3日間通して実施。パーティで作りたいメニューとして人気の日本食である寿司を30分で手軽に学べるコース、30枠が実施されました。SOレストランのヘッド寿司シェフ、松谷友和氏から直々に、握りや巻きの作り方を伝授される様子は、立ち見の観客まで出る盛況ぶりでした。参加者は、最後に日本米、キッコーマンしょうゆ、すし酢、エスビーワサビなどが詰め合わせになった寿司キットをもらい、自宅での寿司作りに意欲を見せていました。



・紅茶の国で、和風ティータイム

「Eat-Japan Tea Bar」では、抹茶、煎茶、玄米茶、ほうじ茶などお好みの日本茶と、HYPER JAPAN 限定、サンタクロースやクリスマスツリーなどのモチーフをあしらった、Kawaii Tea Sweets (生菓子) がセットで楽しめる和風カフェを実施しました。



■子供から大人まで、最新ゲームの虜に！UK未発売のNintendo Wii Uも大人気！

(エンターテインメントゾーン)

東映アニメーションブースでは、One Pieceの人気キャラクター『トニートニー・チョッパー』の巨大バルーンが来場者をお迎え、任天堂ブースでは、英国で間もなく発売されるNintendo Wii Uが、発売に先駆けて体験できる場を提供、バンダイナムコゲームスではスタジオジブリ製作協力の新作ゲーム「ニノ国 白き聖灰の女王」が体験でき、トレーディングカードゲームでは、コナミが大人気シリーズ・遊戯王のトライアルを実施、また、昨年引きつづき、日本からブシロードが参加し、現地コミュニティの協力でミニトーナメントも行なわれました。

名古屋で約17ヶ国が参加して世界大会が行われる「ワールドコスプレサミット (WCS)」(主催：テレビ愛知)のイギリス代表権を決定する予選会も行われ、ブリティッシュ・エアウェイズの往復航空券が優勝者に授与されました。



■日本が誇る最新テクノロジーに会場中の目線が釘づけ！

岩田鉄工所によって、人間には入りづらい環境下で、しかも人間の生の手を必要とする作業の為に開発された遠隔操作可能な五指可動型のロボットハンド、「ハンドロイド」のデモンストレーションが行われ、観客も体験致しました。日本の最先端技術に多くの関心を集めました。



■本物の伝統文化から今のカルチャーまで、身近に感じられると大好評！（アクティビティエリア）

身近に日本文化を目の当たりにできるアクティビティエリアでは、「かむろ」のワークショップ、居合道、抜刀道、合気道のデモンストレーションなど日本の伝統武道を伝えるとともに、茶道、書道、そして、琴演奏、民謡など日本の伝統が披露されました。対照的にNINJAMANやTOMOCAなどJ-Musicライブも行われ、身近でライブを聞けるとあって、ファンの方々に大変な人気を博しました。



■伝統への強い関心（京都府南丹市）

長い歴史の中で育まれた熟練した職人たちの手によりつくり続けられてきた伝統工芸品の宝庫、京都府南丹市が出展。箸づくり体験は盛況ですぐに在庫がなくなるほどに。英国人のまじめさと手作りの工芸品を愛する様子がひとときわ際立っていました。



・英国の日本食普及のパイオニア「EAT-JAPAN」が、新たな日本飲食のカタチをステージにて提案するデモンストレーション。

(協賛：キッコーマン、エスビー食品)

・英国随一のショコラティエが日本の調味料をチョコレートに！

「Chocolate Fusion Fun with William Curley」は、ベスト・ブリティッシュ・ショコラティエ賞を複数回受賞、知名度・実力ともにトップクラスのウィリアム・カーリー氏を迎え、和のテイストを取り入れたチョコレートの試食実演が行われ、注目を集めました。「型にはまらず、色々な食材を使い、シェフとしての幅を広げていきたい」日本の調味料のしょうゆやワサビを使ったことについてコメント。英国の感覚で、日本の調味料のキッコーマンしょうゆやエスビーワサビ、ゆずを使った新しいテイストのチョコレートは、観客に振る舞われ、試食はあっという間になくなるほど。紹介されたのは、ワサビ&アプリコット、ソイソース&トマト、ユズのチョコレート3点。

その他、「Eat-Japan Cooking & Drink Demonstrations」では、ロンドンにてポップアップレストラン、料理教室、イベントを通して、家庭料理から精進料理まで、日本食を現地の方々に精力的に紹介する料理研究家の池田敦子氏による、クリスマスパーティに最適なタパススタイル（小皿料理）にアレンジした日本食『Japas』の提案がありました。また、英国のインターナショナルワインチャレンジ2011「Sake Communicator Award」を受賞、ROKALレストランにて日本酒のヘッドソムリエとして活躍する菊谷なつき氏と、京都の老舗料亭、村田吉弘氏の英国初のレストラン、Chrysanでバーマネージャーを務めるアレサンドロ・パレンボ氏の2人は、日本酒、キッコーマンしょうゆ、エスビーワサビを使った和製ブラディメアリーや、にごり酒とチェリーのリキュールを使った『チェリースノー』、古酒にシナモンやナツメグなどのスパイスを利かせた『クリスマスアンバー』など3種の革新的な和風カクテルを提案し、日本の伝統的な食文化を英国の感覚に見事に融合したテイastingやプレゼンテーションが行われました。



■多くの観客がつめかけた圧巻のマグロ解体ショー（東京都）

長さ1メートル、重さ約50キロの巨大キハダまぐろが鮮やかに捌かれる様子を目の当たりにした観客は圧倒されていた様子。みるみるうちに捌かれた刺身は観客に振る舞われ、多くの人が捌き立てのマグロに舌鼓を打ちました。



■ストリートフード人気上昇中のロンドン。HYPER JAPANのジャパニーズストリートフード（日本食屋台）が今タイムリー！

前回に引き続き、屋台感覚で日本食が楽しめるフードコートは幅広い層の来場者でひしめきあっていました。たこ焼き、焼そば、おにぎり、天むす、ラーメン、餃子、すし、オムライス、カレー、菓子パン、スナック菓子、どらやき、かき氷、和菓子、マカロン、日本酒、梅酒、ビール、抹茶ラテ、健康ドリンクなど多様な日本飲食が提供され、多くの出展者で完売が相次ぎました。



(資料)

■ステージスケジュール

—11月23日(金)—

- 14:10 文化庁メディア芸術祭 presents
第15回文化庁メディア芸術祭 アニメーション部門受賞作品上映
- 15:10 最新ロボット技術ショー by ITK
- 16:00 東京都 presents 巨大マグロ解体ショー
- 17:30 殺陣パフォーマンスグループ「かむみ」ステージショー
- 18:20 菊谷なつきによる「自宅でできる和風カクテル」講座
sponsored by キッコーマン& エスビー
- 19:10 J-Musicイベント 「THE MICRO HEAD 4N'S」 トークショー

—11月24日(土)—

- 10:00 サタデーモーニングライブ
- 11:00 殺陣パフォーマンスグループ「かむみ」ステージショー
- 12:00 クリスマスオードブル: 「Japas」デモンストレーション
sponsored by キッコーマン& エスビー
- 13:00 文化庁メディア芸術祭 presents
石川光久氏(プロダクション・アイジー) & 氷川竜介氏(アニメ評論家) トークショー
- 14:00 The Marble Collection presents
山田淳也氏(総合クリエイティブディレクター) と福山正之氏(ジェネラルプロデューサー)
による東京ストリートファッショントークショー
- 15:00 パーティ向けホームメイド寿司講座 sponsored by ミツカン
- 16:00 世界コスプレサミット予選 sponsored by ブリティッシュ・エアウェイズ
ユーロコスプレギャザリング (European Cosplay Gathering) 予選
コスパレード
- 17:30 最新ロボット技術ショー by ITK
- 18:20 コスプレコンテスト授賞式
- 19:00 J-Musicイベント 「NINJAMAN JAPAN」ライブ

—11月25日(日)—

- 10:00 殺陣パフォーマンスグループ「かむみ」ステージショー
- 11:00 最新ロボット技術ショー by ITK
- 12:00 ウィリアム・カーリーによる チョコレートフュージョンデモンストレーション
sponsored by キッコーマン & エスビー
- 13:00 カワイイスタイル ストリート ファッションショー
- 14:00 ユーロコスプレギャザリング (European Cosplay Gathering) 予選
コスパレード
- 15:00 J-Musicイベント 「友香」ライブ
- 16:00 コスプレコンテスト授賞式

お問い合わせ先

高橋由紀子/志村昌美

HYPER JAPAN press office c/o Cross Media Ltd.

1st Floor, 5-7 Folgate Street, London E1 6BX UK

Tel: +44(0)20-7247-9388 Fax: +44(0)20-7247-9387

Email: press_jp@hyperjapan.co.uk (日本語) , press@hyperjapan.co.uk (英語)